

20170917 「ヤボクの渡し」

目標： 神と真剣に向き合う人に、神は応えることと、祈りが、神と向き合うことだと知る。

聖書箇所：創世記 32：1～32 時間：10分

暗誦聖句：「ヤコブは答えた、『わたしを祝福してくださらないなら、あなたを去らせません』」（創世記 32 章 26 節）

道具： ホワイトボード、ペン

対象者： 中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 幼稚園児×2

留意点： ヤコブの置かれた状況が、ヤコブを神との格闘に追い詰めたことが前提にはある。これをしっかり伝える。そうすることでヤコブへの神の取り扱いが~わかりやすくなるだろう

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>親の所から逃げ出したヤコブさんでした。</p> <p>何があったか覚えていますか</p> <p>ラバンと人の言うところで、だいたい20年くらいヤコブは羊飼いで過ごします。その間に結婚もし、子供もたくさん与えられました。飼っている家畜も神様の祝福を受けて、みんながうらやましがると数が増えたのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エサウから祝福をだまし取った。 ・エサウから恨まれた 	<p>前回の反応から、おそらく答えられると思う。子どもたちにストーリーを話させ、理解を助ける。</p>
課題探究	6分	<p>ラバンはどう思ったでしょう。</p> <p>ヤコブはどうしたと思いますか。</p> <p>今日のお話は、その道中でのお話です。</p> <p>ヤコブさんはどこに行ったら良いでしょうか。</p> <p>ヤコブさんは実家に帰ることを考えましたが、しかし一つの気がかりがありました。何でしょう。</p> <p>ヤコブは、家族財産全部を先に送って、一人川の畔を渡ろうかどうか悩み続けていたのです。</p> <p>夜、どこからか一人の人が来て、彼とずっと相撲ともレスリングともつかない戦いをしました。</p> <p>朝になってその人が帰ろうとしたのにヤコブが話さないの、その人はヤコブのものつがいを外してしまいました。</p> <p>前回の神様の約束を覚えていますか。必ず神様は実家に戻すと約束されました。ところがヤコブは、20年たって、帰りたくなくなっていたのです。でもそれではエサウとの関係に良くないと言うことでしょう、神様はヤコブを逃げられないようにしてエサウと再開させるようになさいました。</p> <p>暗誦聖句</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・悔しい ・逃げ出した ・戦った。 ・わからない ・エサウ 	<p>子どもたちから出るだろう「悔しさ」を元に、ヤコブへの嫉妬が、自分の娘や孫も含めて追い出したくなるほど講じたことに言及する。</p> <p>子どもたちの意見を一通り記老いた後で、逃げたことを伝える。</p> <p>課題提示 考えさせる。その中で実家へ帰る選択肢に気づかせる。</p> <p>これは子どもたちの口から出させたい。</p> <p>一人逃げられるようにとの狡知であることを添えると、なお彼の姿が見えてくるだろう。</p> <p>聖書の記述なので、そのまま伝える。一人の人が誰なのかも聖書には記されていないが、ヤコブは神の人だと感じるようになったことを伝える。</p> <p>暗誦聖句はこのとき発せられたことと、股関節脱臼なので、エサウの所に行く以外に無くなったこととを補足して説明する。</p>
まとめ	2分	<p>暗誦聖句</p>		<p>190号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。ヤコブの食いつきと、神様の深い配慮を印象づけて終わりたい。次回を予告すると、彼らの印象により強く残ると思う。</p>